

授業科目 相談援助各論II

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	社会
笠井友治郎		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 集団援助技術（グループワーク）について、理論・価値・倫理および方法・技術について体系的に学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. グループとは何か、グループの構造、グループの発達、グループと個人の関係、個人にとってグループの意義を理解する。 2. 集団援助技術（グループワーク）成立過程と諸理論（アプローチ）について理解する。 3. 集団援助技術（グループワーク）の援助展開過程を理解する。 4. 集団援助技術（グループワーク）の援助展開過程で用いられる専門技術についてを理解・習得する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション				講義
2	グループとは何か。ソーシャルワーク方法論の中でグループを活用する意味を学習する。				講義
3	人間の成長・発達とグループとの関わり方の意義を学習する。				講義
4	グループの構造と機能を学習する。				講義
5	グループワークの成立過程を学習する。				講義
6	グループワークの定義・原理・原則を学習する。				講義
7	ソーシャルワークの機能と相互援助システムについて				講義
8	グループワークの展開過程について1				講義
9	グループワークの展開過程について2				講義
10	グループワークの展開過程で用いられる専門技術について1				講義
11	グループワークの展開過程で用いられる専門技術について2				講義
12	グループワークの展開過程で用いられる専門技術について3				講義
13	グループワークの展開過程で用いられる専門技術について4				講義
14	全体のまとめ1				講義
15	全体のまとめ2				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		シリーズ基礎からの社会福祉2 社会福祉援助技術論	基礎からの社会福祉編 集委員会	ミネルヴァ書房	2,600円
参考書		グループワークの専門技術：対人援助 のための77の方法 「グループ」という方法	黒木保博 [ほか] 著 武井麻子著	中央法規出版 医学書院	2001 2002
その他の資料					
【評価方法】 出席状況及び受講態度（40%） 最終試験（60%）			【履修上の留意点】		